

2015 年 7 月 7 日

各 位

東燃ゼネラル石油株式会社  
問合せ先：  
EMGマーケティング合同会社  
広報渉外統括部  
TEL:03-6713-4400

**2015 年度 東燃ゼネラル児童文化賞・音楽賞 受賞者決定のお知らせ**

2015 年度東燃ゼネラル児童文化賞および音楽賞（以下「当賞」）の受賞者が次の通り決定しましたので、お知らせいたします。

9 月 30 日（水）ホテルオークラ東京で行われる贈賞式において、受賞者にそれぞれトロフィーと副賞賞金 200 万円を贈呈します。また、受賞記念公演を 11 月 16 日（月）紀尾井ホールにて開催する予定です。

**第 50 回 東燃ゼネラル児童文化賞 受賞者**

五味 太郎 （ごみ たろう） 絵本作家

**第 45 回 東燃ゼネラル音楽賞 受賞者**

邦楽部門 沢井 一恵 （さわい かずえ） 箏曲

洋楽部門 本賞 寺神戸 亮 （てらかど りょう） ヴァイオリン、指揮

洋楽部門 奨励賞 川本 嘉子 （かわもと よしこ） ヴィオラ

11 月 16 日（月）に紀尾井ホールにて開催される受賞記念公演には、本年度も一般の方 100 名様を抽選でご招待いたします。詳細につきましては当グループのホームページ（<http://www.tonengeneral.co.jp/>）で 10 月にご案内する予定です。

当賞は、1966 年にモービル児童文化賞、1971 年にモービル音楽賞として創設されました。2001 年にはエクソンモービル児童文化賞・音楽賞として継承され、さらに 2012 年 6 月に東燃ゼネラルグループの発足に伴い、名称を東燃ゼネラル児童文化賞・音楽賞と改めました。2015 年、児童文化賞は創設 50 周年という大きな節目を迎えることができました。

これからも、私たちはこの賞の持つ『一時の流行に惑わされることのない選考を通して、わが国の児童文化、音楽文化の発展、向上に尽くしてこられ、今後それぞれの分野の将来を担われる方々をたたえ励ましたい』という意義を大切にしていきたいと思います。私たちは、この賞を通じて人々が感動し笑顔になれ、子供達の明るい未来に繋がるような社会・文化貢献を進めていきたいと考えております。

以 上

添付 1: 贈賞理由及び受賞者のプロフィール

添付 2: 東燃ゼネラル児童文化賞・音楽賞の概要

添付 3: 歴代受賞者リスト

#### 東燃ゼネラルグループについて

東燃ゼネラルグループは、東燃ゼネラル石油株式会社を中心に複数の子会社・関連会社で構成されており、石油・石油化学製品を扱う事業を展開しています。そしてエッソ、モービル、ゼネラルのブランドのもと、これからも安定的にエネルギーを供給し、日本を未来へと動かすエネルギーカンパニーになることを目指しています。東燃ゼネラル石油は、東京証券取引所第一部に株式を上場しています。詳細につきましては、こちらのサイトをご覧ください。<http://www.tonengeneral.co.jp>



This is MECENAT は、「芸術・文化振興による社会創造＝メセナ」の認定制度です。

※東燃ゼネラル児童文化賞の活動は、2015年、公益社団法人企業メセナ協議会に認定されました。

## 1. 第 50 回 東燃ゼネラル児童文化賞

五味 太郎 (ごみ たろう)

絵本作家

<http://www.gomitaro.com/>

### ◆ 贈賞理由 ◆

1973 年に最初の絵本『みち』を刊行して以来、絵本作家としてこれまで 400 冊を超す絵本を刊行。『さる、るるる』『みんなうんち』『きんぎょがにげた』など、幼児の興味や関心を見事にとらえたユニークな絵本は、30 年以上もロングセラーとして読み継がれている。『言葉図鑑』をはじめとした学習絵本や『らくがき絵本』などの遊戯絵本で、絵本というメディアの可能性を押し広げるとともに、子どもの立場に立った独特な絵本論やエッセイ集も出版。また、NHK テレビ「おかあさんといっしょ」の歌をたくさん作詞するなど多彩に活躍。ポローニャ国際絵本原画展賞受賞をはじめ、海外での評価も高く作品もたくさん翻訳出版され、世界中の子どもたちにも親しまれるなど、国内外の子ども文化に多大な貢献をしている。

(児童文化賞 選考委員会)

### ◆ 略歴 ◆

1945 年東京都生まれ。桑沢デザイン研究所 ID 科修了。工業デザインの世界から絵本を中心とした創作活動に入り、1973 年『みち』(福音館書店) 発刊、以降 400 冊を超える作品を発表。海外 18 カ国以上で翻訳・出版されている。絵本『たべたのだあれ』『かくしたのだあれ』(サンケイ児童出版文化賞)、『きんぎょがにげた』、『ヒトニツイテ』、『さる・るるる』、『仔牛の春』(ポローニャ国際絵本原画展賞)、『みんなうんち』、『まどからおくりもの』、『言葉図鑑』(世界でもっとも美しい本賞)、『ことわざ絵本』、『らくがき絵本』、エッセイ『大人問題』、『ときどきの少年』(路傍の石文学賞受賞)、『おしゃべりしていればだいじょうぶ』、小野明氏との共著『絵本をよんでみる』、宗教学者・山折哲雄氏との対談『砂漠と鼠とあんかけ蕎麦～神さまについての話』など。近著は『百人一首ワンダーランド』。国内はもとより、欧米諸国、スリランカ、メキシコ、台湾などで、大勢の人たちと大きな絵を描くワークショップを開催。

### ◆ 主な受賞歴 ◆

1978 年	サンケイ児童出版文化賞
1981 年	ポローニャ国際絵本原画展賞
1987 年	ドイツ・ライプツィヒ 世界でもっとも美しい本コンクール展 銅賞
2000 年	路傍の石文学賞

## 2. 第 45 回 東燃ゼネラル音楽賞 邦楽部門

沢井 一恵 (さわい かずえ)  
箏曲

沢井箏曲院

〒153-0051 東京都目黒区上目黒 5-20-18

Tel: 03-3712-3590

<http://sawaisoukyokuin.com/>

### ◆ 贈賞理由 ◆

迫真的に奏される十七絃のその“響き”は時に内省的な凝縮された「間」を生み、時に激情がほとばしり溢れ出る、邦楽において稀有の表現力で聴衆をひき込む。沢井一恵氏は八歳より宮城道雄(1894~1956)に師事。夫忠夫氏(1937~1997)と共に沢井箏曲院を設立し、多くの俊英を育成するとともに、自らは 1979 年第 1 回十七絃リサイタルを開催以来、特に十七絃にエネルギーを注いできた。さまざまなジャンルの音楽家と交流しながら、現代の音楽創造に積極的に関わり、作曲家達への作品委嘱、実験的作品への挑戦、オーケストラとの協演など、意欲的なスタイルを貫き、国内外で多彩な活動を展開、宮城道雄考案の低音補助的であった十七絃の表現領域を拡大して独奏楽器として位置づけるなど、高い評価を得ている。

(音楽賞邦楽部門 選考委員会)

### ◆ 略歴 ◆

宮城道雄に師事。東京藝術大学卒業。沢井忠夫と共に沢井箏曲院設立。現代邦楽で活躍する一方、作曲家の一柳慧、打楽器の吉原すみれと結成した「トライアングル・ミュージック・ツアー」「沢井一恵・360°の眼差し」、ジョン・ゾーン、高橋悠治プロデュースによるリサイタルなど多彩な実験的活動を展開。NY の BANG ON A CAN フェス、ウィーン、パリ市立劇場、メールス JAZZ フェス(独)ミュージック・アクション(仏)などより招聘を受け、各ジャンルでのコンサートを通し、古典に始まる日本伝統楽器としての箏と西洋音楽、現代音楽、JAZZ、即興音楽などとの接点を探求。その過程で出会った、ジョン・ケージ、ロシア人作曲家ソフィア・グバイドゥーリナとの共同作業、即興演奏を経て、箏コンチェルト(NHK 交響楽团委嘱)へと展開、シャルル・デュトワの指揮でアメリカツアーを行う(NY カーネギー、ボストンシンフォニーホールなど全 6 公演)。その後、ロシア国立管弦楽団との共演など世界中の音楽シーンで箏音楽の真価を問い続けている。

### ◆ 主な受賞歴 ◆

1972 年	RCA レコード奨励賞
1980 年	文化庁芸術祭優秀賞
2000 年	外務大臣表彰

### 3. 第 45 回 東燃ゼネラル音楽賞 洋楽部門本賞

寺神戸 亮 (てらかど りょう)  
ヴァイオリン、指揮

株式会社オレンジノート

〒223-0053 横浜市港北区綱島西 2-9-5 バンベール北川 601  
Tel: 045-545-4316/ Fax: 045-545-4317  
<http://www.orange-note.com/>

#### ◆ 贈賞理由 ◆

世界的にも高く評価される古楽のヴァイオリン奏者、指揮者。桐朋学園大学音楽学部に学び、1984 年首席で卒業、同時に東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターに迎えられた。しかし、かねてより関心のあったピリオド楽器によるバロック演奏に専心するため、オランダに留学、シギスヴァルト・クイケンに師事。直ちにその才能が認められて、「レザール・フロリサン」「シャペル・ロワイヤル」などヨーロッパの名門アンサンブルや、鈴木雅明率いる「バッハ・コレギウム・ジャパン」でもコンサートマスターとして活躍。1995 年には、第一回「北とぴあ国際音楽祭」で指揮者としてデビューし、精力的な演奏活動を展開。さらに録音活動にも積極的に取り組み、バッハ、ヘンデル、モーツァルト、ベートーヴェンなど、数多くの名盤をリリース。古楽演奏は完全に市民権を得、今では当たり前のような風潮すらあるが、まだまだオペラに関しては課題も多い。そうした中に於いて、これからの古楽演奏の魅力と可能性を探りだす力と才能を持つ名演奏家であり、さらに時代を下つての演奏活動には期待も大きい。これまでの実績を評価するとともに、今後ますますの飛躍を祈念しての贈賞である。(音楽賞洋楽部門選考委員会)

#### ◆ 略歴 ◆

1961 年ポリアヴィア生まれ。ヨーロッパを代表する古楽器アンサンブルやオーケストラのコンサートマスターとしての充実した仕事など、アンサンブル奏者、リーダーとして優れた資質を発揮し、またソリストとして数多くのオーケストラと協奏曲を共演。弦楽四重奏団<ミト・デラルコ>(水戸芸術館所属)の第1ヴァイオリンとして、また、独奏やアンサンブルで、初期バロックから後期ロマン派、印象派に至るまで幅広い演奏をこなす。2006 年からは最近復元されたヴィオロンチェロ・ダ・スパツァを用いた演奏活動を精力的に行っている。『第 1 回北とぴあ国際音楽祭'95』において、パーセルの《ダイドーとエネアス》で指揮者デビュー。以後、同音楽祭ではラモーやモーツァルトなど、フランス・バロックとモーツァルトの作品を中心に公演し、日本で最もバロック・オペラに精通した貴重な存在として注目を集めている。デン・ハーグ王立音楽院教授、桐朋学園大学音楽学部特任教授。ベルギー、ブリュッセル在住。

#### ◆ 主な受賞歴 ◆

1983 年	日本音楽コンクール第 3 位
1995 年	レコード・アカデミー賞(1996 年、2008 年にも受賞)
2000 年	文化庁芸術祭優秀作品賞
2011 年	文化庁芸術祭レコード部門優秀賞

#### 4. 第 45 回 東燃ゼネラル音楽賞 洋楽部門奨励賞

川本 嘉子 (かわもと よしこ)  
ヴィオラ

株式会社ジャパン・アーツ  
〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6  
Tel: 03-3499-8091/ Fax: 03-3499-8092  
<http://www.japanarts.co.jp/>

##### ◆ 贈賞理由 ◆

日本を代表するヴィオラ奏者。桐朋学園に学び、江藤俊哉のもとでヴァイオリンを学ぶとともにヴィオラも修得。1991 年、東京都交響楽団にヴィオラ奏者として入団、1992 年には、ジュネーヴ国際コンクールで第二位(第一位はなし)となり、世界的に注目された。またマールポロ音楽祭にも参加するなど、常に精力的に研鑽、自身の演奏家としての在り方を見つめ直している。1997 年から翌年にかけて 5 回のリサイタル・シリーズを行ない、ヴィオラの魅力と可能性をアピールした。アルゲリッチやマイルス・デイヴィスなど世界的な名演奏家からの信頼が厚く、共演する機会も数多い。ヴィオラという楽器に寄せる深い愛情を裏付けとしたこれまでの演奏活動を評価するとともに、今後のますますの活躍を祈念しての贈賞である。

(音楽賞洋楽部門 選考委員会)

##### ◆ 略歴 ◆

ソリスト・室内楽奏者として最も活躍しているヴィオラ奏者。水戸室内管弦楽団、アルティ弦楽四重奏団、AOI・レジデンス・クワルテット、前橋汀子カルテットのメンバー。3歳よりスズキ・メソッドでヴァイオリンを始め、桐朋学園附属子供のための音楽教室で鈴木愛子、桐朋学園で江藤俊哉、室内楽を末吉保雄、数住岸子、原田幸一郎の各氏に師事。在学中より演奏活動を開始。1991 年東京都交響楽団への入団をきっかけにヴィオラに転向。1999 年より 2002 年退団まで首席奏者を務める。タングルウッド、マールポロ、ダボス、東京の夏、霧島、サイトウキネンオーケストラ、別府アルゲリッチなどの音楽祭に参加。アルゲリッチやバシユメットなどと共演し絶賛を博している。チョン・ミョンフンとも室内楽で日本・韓国公演を行った。ソリストとして、これまでにガリー・ベルティーニ、ジャン・フルネ、ペーター・マークなどの世界的な指揮者と共演。2013～2014 年、東京音楽大学指揮科聴講生として指揮を勉強し、広上淳一に師事。指導者としては東京芸術大学弦楽科、室内楽科の非常勤講師、東京音楽大学指揮科特別アドヴァイザー、小澤征爾音楽塾、小澤国際室内楽アカデミーの講師などを歴任。

##### ◆ 主な受賞歴 ◆

1989 年	第 6 回東京国際コンクール室内楽部門優勝(イグレック・クワルテットで参加)
1992 年	ジュネーヴ国際音楽コンクール・ヴィオラ部門最高位(1 位なしの 2 位)
1996 年	村松賞
1997 年	第 7 回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞

## 東燃ゼネラル児童文化賞・東燃ゼネラル音楽賞 概要

東燃ゼネラル児童文化賞及び東燃ゼネラル音楽賞は、日本の児童文化、音楽文化の発展・向上に大きく貢献した個人または団体をたたえる目的で創設されました。毎年、児童文化賞、音楽賞邦楽部門、音楽賞洋楽部門本賞、音楽賞洋楽部門奨励賞の4賞につき、各々1個人または1団体が選ばれ、それぞれトロフィーと副賞賞金 200 万円が贈られます。

### 【東燃ゼネラル児童文化賞】

1966年に創設された児童文化賞は、今年で50回を数える歴史ある賞に発展しました。受賞者と受賞分野の多彩さがこの賞の特色であり、作家、学者、研究者、評論家、歌手、俳優、野草園長、子供新聞の編集発行、人形劇の祭典、ミュージカル主宰など、全国的に著名な活動からあまり知られていない地域の活動まで、児童文化の各種分野から幅広く受賞者が選ばれています。

### 【東燃ゼネラル音楽賞】

1971年に創設された音楽賞は、今年で45回目を迎えます。また、洋楽部門では1989年より、日本を代表する優れた若手音楽家を讃えるために奨励賞が設けられています。邦楽部門においては、これまでに21人の受賞者が重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されています。邦楽部門・洋楽部門を併せ持ち、単年度内の功績ではなくそれまでの実績全体に視点を置いた選考を行っている点がこの賞の特色です。

### 選考方法

児童文化界、音楽界の有識者の方々に受賞候補者の推薦を依頼し、その結果を参考にして、各部門3名の選考委員により構成される選考委員会において審議の上、受賞者を決定しました。

### 選考委員（敬称略、順不同）

【児童文化賞】	松居 直	児童文学者
	野上 暁	児童文化研究家
	仲居 宏二	教育教養放送コンサルタント・聖心女子大学非常勤講師
【音楽賞 邦楽部門】	徳丸 吉彦	お茶の水女子大学名誉教授 聖徳大学教授・京都市立大学客員教授
	山川 直治	日本音楽研究家
	塚原 康子	東京藝術大学教授
【音楽賞 洋楽部門】	関根 礼子	音楽評論家
	中村 孝義	大阪音楽大学理事長
	諸石 幸生	音楽評論家

## 東燃ゼネラル児童文化賞 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1966	初山 滋* 日本童話会	童画家 会長・後藤 楷根*
2	1967	千葉県三* 人形劇団ブーク	童話作家 代表・川尻泰司
3	1968	棕 鳩十* ダークダックス	児童文学者 コーラスグループ
4	1969	金沢嘉市* 市川市立養護学校の詩集「いずみ」	教育評論家
5	1970	真理ヨシコ 戸塚 廉*	童謡歌手 「おやこ」新聞編集発行
6	1971	吉澤 章*	折り紙作家
7	1972	菅野邦夫	仙台市野草園園長
8	1973	アン・ヘリング	児童文学研究家
9	1974	滝平二郎*	きり絵作家
10	1975	辻村ジュサブロー	人形作家
11	1976	富田博之* 劇団「風の子」	青少年文化研究者 代表・多田 徹
12	1977	坂本小九郎と湊中学校養護学級の生徒達	美術教育と版画制作
13	1978	佐野浅夫 瀬川康男*	俳優 絵本作家
14	1979	田沼武能	写真家
15	1980	渡辺茂男*	児童文学者
16	1981	ろばの会	作曲家グループ
17	1982	富山県立近代美術館	館長・小川正隆
18	1983	萩本欽一	TVタレント
19	1984	長崎県外海町	町長・平野武光
20	1985	東京放送児童合唱団	代表・近藤真司
21	1986	手で見えるギャラリー・TOM	代表 村山亜土・村山治江
22	1987	ポニージャックス	コーラスグループ
23	1988	人形劇カーニバル飯田実行委員会	実行委員長・松澤太郎
24	1989	岡本忠成*	アニメーション作家
25	1990	与田準一*	童謡・童話作家
26	1991	今西祐行*	児童文学作家
27	1992	「中学生日記」	NHKテレビ番組
28	1993	松居 直	福音館書店会長
29	1994	香川県大川郡大内町	町長・中條弘矩
30	1995	「まんが日本昔ばなし」	テレビアニメ番組:愛企画センター制作
31	1996	神沢利子	児童文学作家
32	1997	阪田寛夫*	詩人・作家
33	1998	細川真理子	「札幌こどもミュージカル」代表
34	1999	太田大八	絵本画家
35	2000	谷川俊太郎	詩人
36	2001	大原れいこ	テレビ演出家
37	2002	長 新太*	絵本作家
38	2003	山中 恒	児童文学作家
39	2004	越部信義*	作曲家
40	2005	松谷みよ子*	作家
41	2006	演劇集団 円 円・こどもステージ	児童劇
42	2007	佐藤さとる	児童文学作家
43	2008	今江祥智*	児童文学作家
44	2009	神宮輝夫	児童文学研究家・翻訳家
45	2010	今森光彦	写真家
46	2011	河合雅雄	霊長類学者
47	2012	加古里子	児童問題研究家
48	2013	角野栄子	作家
49	2014	公益財団法人 東京子ども図書館	私立図書館

(敬称略・\*は故人)



## 東燃ゼネラル音楽賞邦楽部門 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1971	山口五郎*	琴古流尺八
2	1972	松崎倭佳* 稀音家幸*	長唄 唄方 長唄 三味線
3	1973	菊原初子*	地歌 箏曲
4	1974	田中伝左衛門*	歌舞伎 長唄囃子
5	1975	杵屋正邦*	現代邦楽作曲
6	1976	観世寿夫*	能楽 シテ方
7	1977	山彦河良*	河東節
8	1978	杵屋佐登代*	長唄 唄方
9	1979	鶴田錦史*	薩摩琵琶
10	1980	町田佳聲* 福原百之助*	邦楽研究評論 長唄 囃子笛方
11	1981	太田里子*	地歌 箏曲
12	1982	今藤長十郎*	長唄 三味線
13	1983	都 一中*	一中節 三味線
14	1984	常磐津文字兵衛	常磐津節 三味線
15	1985	浅川玉兔* 竹本住大夫	長唄研究 義太夫節太夫
16	1986	杵屋五三郎*	長唄 三味線
17	1987	中田博之*	箏曲
18	1988	平井澄子*	現代邦楽
19	1989	米川敏子*	箏曲
20	1990	日本音楽集団	現代邦楽創造グループ
21	1991	尺八三本会	尺八
22	1992	宮田哲男	長唄 唄方
23	1993	一噌幸政*	能楽笛方
24	1994	都一いき*	一中節
25	1995	藤井久仁江*	地歌 箏曲
26	1996	竹本駒之助	女流義太夫
27	1997	芝 祐靖	雅楽
28	1998	観世榮夫*	能楽 シテ方
29	1999	鶴澤清治	文楽 三味線方
30	2000	田島佳子*	長唄 三味線方
31	2001	山本東次郎	大蔵流狂言
32	2002	川瀬白秋*	箏曲 胡弓
33	2003	大和久満*	大和楽 三味線方
34	2004	米川裕枝	箏曲
35	2005	味見 亨	長唄 三味線方
36	2006	野坂恵子	箏曲
37	2007	横道萬里雄*	楽劇評論
38	2008	今藤政太郎	長唄 三味線方
39	2009	藤舎呂船	邦楽囃子
40	2010	近藤乾之助*	能楽 宝生流 シテ方
41	2011	豊竹咲大夫	文楽義太夫節太夫
42	2012	清元美治郎	清元節 三味線方
43	2013	今藤尚之	長唄 唄方
44	2014	中川善雄	邦楽囃子 笛方

(敬称略・\*は故人)

## 東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門本賞 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1971	江藤俊哉 *	ヴァイオリン
2	1972	朝比奈 隆 *	指揮
3	1973	東京室内歌劇場	オペラ
4	1974	巖本真理弦楽四重奏団 *	室内楽
5	1975	小澤征爾	指揮
6	1976	鈴木鎮一 *	音楽教育
7	1977	園田高弘 *	ピアノ
8	1978	音楽之友社	音楽総合出版
9	1979	小林道夫	チェンバロ
10	1980	二期会	声楽研究・オペラ公演
11	1981	武満 徹 *	作曲
12	1982	渡辺暁雄 *	指揮
13	1983	札幌交響楽団	オーケストラ
14	1984	野村光一 *	音楽評論
15	1985	東 敦子 *	ソプラノ
16	1986	藤原歌劇団	オペラ
17	1987	堤 剛	チェロ
18	1988	アンリエット・ピュイグ＝ロジエ *	ピアノ
19	1989	吉田雅夫 *	フルート
20	1990	三善 晃 *	作曲
21	1991	若杉 弘 *	指揮
22	1992	中澤 桂	ソプラノ
23	1993	和波孝禧	ヴァイオリン
24	1994	松村禎三 *	作曲
25	1995	今井信子	ヴィオラ
26	1996	秋山和慶と東京交響楽団	
27	1997	畑中良輔 *	バリトン・音楽評論
28	1998	松本美和子	ソプラノ
29	1999	鈴木雅明とバッハ・コレギウム・ジャパン	
30	2000	大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス	
31	2001	西村 朗	作曲
32	2002	海老彰子	ピアノ
33	2003	福井 敬	テノール
34	2004	小栗まち絵	ヴァイオリン
35	2005	中村紘子	ピアノ
36	2006	モーツァルト劇場(主宰:高橋英郎)	オペラ
37	2007	前橋汀子	ヴァイオリン
38	2008	ゲルハルト・ボッセ *	指揮
39	2009	大野和士	指揮
40	2010	田中信昭	合唱指揮
41	2011	公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団	オーケストラ
42	2012	舘野 泉	ピアノ
43	2013	小山実稚恵	ピアノ
44	2014	佐々木典子	ソプラノ

(敬称略・\*は故人)

## 東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門奨励賞 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1989	吉野直子	ハープ
2	1990	漆原朝子	ヴァイオリン
3	1991	長谷川陽子	チェロ
4	1992	佐久間由美子	フルート
5	1993	仲道郁代	ピアノ
6	1994	錦織 健	テノール
7	1995	千住真理子	ヴァイオリン
8	1996	高橋薫子	ソプラノ
9	1997	樫本大進	ヴァイオリン
10	1998	若林 顕	ピアノ
11	1999	佐野成宏	テノール
12	2000	横山幸雄	ピアノ
13	2001	森 悠子主宰長岡京室内アンサンブル	
14	2002	矢崎彦太郎	指揮
15	2003	川田知子	ヴァイオリン
16	2004	斉田正子	ソプラノ
17	2005	渡辺玲子	ヴァイオリン
18	2006	篠崎和子	ハープ
19	2007	藤村実穂子	メゾソプラノ
20	2008	幸田浩子	ソプラノ
21	2009	趙 静	チェロ
22	2010	藤倉大	作曲
23	2011	粟國淳	オペラ演出
24	2012	山崎伸子	チェロ
25	2013	古典四重奏団	弦楽四重奏
26	2014	下野竜也	指揮

(敬称略)